



2005年6月26日

日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田 1030-2
43-0468(福田)
42-2462(鈴木)

毎週日曜日発行
お問合せは上記へ

鈴木やす子議員
の一般質問から

6月議会での、鈴木やす子議員
の一般質問の概要を紹介します。

「食育」で人と地域の健康を

成立した「食育基本法」も弾みに

【鈴木やす子議員】地域福祉計画・次世代育成支援行動計画にある「食育」はどう取り組まれているか。また食育推進ネットワークの構築についてはどういう検討がなされているか。

【市民福祉部長】健康診

査時などに食事指導をおこなっている。今後は市として食育の実態を把握し、認知度を上げるため、食に関する情報や体験学習の機会を増やしていく。ネットワークには、福祉・保健・教育関係機関の参加を考

ている。

【鈴木議員】

学校給食での取り組みはどうか。

【教育次長】

偏食、欠食、摂食障害など成長期における問題点は認識している。良い栄養バランスの指導や学校給



最高峰に展望台

他県との境に位置する八溝山を除き、茨城県内での最高峰「栄蔵室」に完成した展望台。天気条件に恵まれれば、富士山を望むことができる位置です。

食メニューの改善をはかっている。各学校での給食試食会や栄養指導、アンケートなどもおこなっている。

また食材には地場産を扱うよう努力し、その比率は全体で45%、米は100%、長ねぎ・きゅうり・しめじ・豆腐は70%となっている。

【鈴木議員】朝食抜きや

孤食の広がり、飽食の中で栄養のかたより、食文化の伝承のときれ等々は、子どもたちの成長や大人社会の不安定さに大きく影響しているのではないか。

【鈴木議員】朝食抜きや

が成立した。自給率低下など政府自身の責任がいまいではあるが、「食」や食文化に対する関心、食材を得る仕事への関心呼び起こし、地域の教育力をとりもどす弾みとしてほしい。

食育による農山漁村の活

性化や国内各地の食文化の継承にも言及しているこの法律の趣旨にそつても、食育推進ネットワークの構築にさいしては、これから子育てをする世代や生産者の

枠も検討をすべきである。

介護・乳幼児医療費の負担軽減を

【鈴木議員】介護保険見

直しに基づく市の試算は甘い。国会審議で、施設介護では5割増、あるいは2倍を超える負担増も指摘されている。介護サービスの低下も懸念される。国・県に意見を言うべきである。

乳幼児医療費について、

県の助成の年齢幅を引き上げるのを機に市の助成をはずしてしまうとは、あきらかに後退だ。小さないのちを支える医療費の無料化は小児化対策の基本である。

【市長】自治体全体とし

て26項目にわたつて機会のあるごとに伝えている。個別なものもあるが、最大



半鐘が取り付けられるポール

設置すすむ半鐘をどう活かす

公約数として意見表明をしている。介護ばかりでなく福祉についても、持続可能な制度として変えることも必要だ。乳幼児医療費の課題も同じと考える。

【鈴木議員】津波対策と

して半鐘の設置が始まっている。警報のシステムづくりについてうかがう。

【総務部長】7月中

に24基を設置する。一基につき市職員1名と地元の消防分団員2名、計3名で一

ご相談はお気軽に



市議会議員
鈴木やす子
☎42-2462



市議会議員
福田 明
☎43-0468

「北茨城民報」はインターネットでもご覧いただけます。
<http://www.jcp-ktib.com/>

グループを考えている。近辺の住民などにもボランティアを募ることを考えている。方法については、現在消防と協議中。いたずら防止については、学校を通じて注意喚起し、地域の方の目視の協力を考えている。8月26日の防災訓練時に予定を計画している。

【鈴木議員】マスコミでも注目された事業。街おこしの一環としての利用も考えてはどうか。

*
ほかに、義務教育での父母負担の軽減として、学級費の廃止と、需用費の増額について質問し、要望。